

# 筑波大学附属病院

## 疾患治療前に行う

にんようせい

## 妊孕性温存医療のご案内



筑波大学附属病院では、疾患治療前に行う妊孕性温存医療（精子凍結保存・胚凍結保存）を実施しています。

### 妊孕性とは？

妊孕性とは「妊娠や出産のしやすさ（妊娠する力）」のことを意味します。がんや膠原病などの疾患に対する治療の影響によって妊孕性が失われたり、低下することがあります。妊孕性を残す方法として、妊孕性温存医療があります。

### 対象となる方

#### 【男性の場合（精子凍結保存）】

がんや膠原病などの疾患に対する治療により、精巣機能障害を来し、将来的に無精子症に至るリスクを有する患者さん

#### 【女性の場合（胚凍結保存）】

がんや膠原病などの疾患に対する治療により、卵巣機能障害を来し、将来的に早発閉経に至るリスクを有する患者さん

### 妊孕性温存に関する診療科

【男性の妊孕性温存】 筑波大学附属病院腎泌尿器外科 担当医：古城 公佑・根来 宏光

【女性の妊孕性温存】 筑波大学附属病院産婦人科 担当医：川崎 彰子・井尻 博子

### 受診をご希望の方

まずは、主治医の先生とご相談ください。

### 問い合わせ先

筑波大学附属病院総合がん診療センターがん生殖医療部門 TEL:029-853-8096